



12月



令和6年11月29日
横浜市立金沢小学校
校長 保科 優子

保護者・地域の皆様と

校長 保科 優子

11月も半ばを過ぎたころから、真冬のような寒さの日も多くなりました。インフルエンザやコロナ、マイコプラズマ肺炎など金沢小学校では爆発的には増えていないものの、体調不良で欠席という児童が少しずつ増えています。手洗い、うがいといった基本的な感染対策を行い、体調がよくないときには無理をしないようお願いいたします。

金沢小学校に戻ってきて、以前と変わらず地域や保護者の方の温かさを感じる事がとても多いです。

先日、釣りクラブの活動と一緒に行きました。釣りクラブがある学校など横浜市内では金沢小学校くらいだと思います。クラブの子どもたちは、慣れた手つきで餌を針につけ、竿をたらししていました。この日はそれほど多くは釣れなかったのですが、誰かが魚を釣り上げると歓声が上がりました。魚を釣った子は針を外そうとするのですが、これがなかなかうまくいきません。そんな姿に地域の方や釣りクラブの様子を見に来てくださった保護者の方が自然と手を貸してくださっていました。金沢小の子どもたちは、当たり前のように地域、保護者の方に見守られているのだと感じた場面でした。

22日には、学校運営協議会がありました。この日は、学校運営協議会の委員の皆様だけでなく、町内会長様やPTAの役員の方にもご参加いただき、金沢小学校の子どもたちの様子やこれからの学校教育について意見交換をしました。横浜市学力・学習状況調査の結果から、金沢小の子どもたちの学力は、市の平均をやや下回っていますが、地域の行事への参加率や、自己肯定感が高いということが分かりました。自己肯定感が高いと、自分に自信をもち、自分から挑戦しようという気持ちが見られるようになります。周りの友達にも優しくできます。とてもうれしいことです。

ご参加くださった皆様からは、

- ・主体性を大切にしていることは分かったが、協調性といったことも合わせて大切にしてほしい。
- ・タブレットも大事かもしれないが、自分で書くということも大切にしてほしい。
- ・クラスのみんなで作り上げる金沢タイムやジャンプフェスタなど、様々な学校行事があるのはよい。
- ・昔より、今の子どもたちのほうが活発になってきた気がする。地域の方々のおかげなのではないか。
- ・学校がいじめを積極的に認知しているのはとてもよいことだ。子どもたちは、先生に心を開いて話せていることはよいことだと思う。

など、たくさんのご意見、ご感想をいただくことができました。ありがとうございました。

令和6年も残り1か月となりました。12月は子どもたちが毎日練習を頑張っているジャンプフェスタがあります。きっとまた素敵な姿を見せてくれることでしょう。

皆様、ここまでたくさん応援をいただきありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。